

特別講演会「もうひとつのお金の流れを知る」実施報告書

＜もうひとつのお金の流れを知る＞講演会 実行委員会

実施概要

現在の金融教育による知識を超えて、お金の流れは多彩に展開している。「お金の流れ」を考えるきっかけとして、集めたお金を環境・社会問題に取り組んでいる人たちに融資するNPOバンクや地域通貨の紹介をする。

実施目的

通貨金融の新たな可能性を模索し、活動にとって有効的なお金の流れの視点を養い、広く周知できるように講演会開催や調査・研究発表を行う。

実施内容

1. 事前調査

①アトム通貨見学調査

場所 : 早稲田・高田馬場

調査日 : 2008年9月1日

調査内容: アトム通貨とは、学生が中心となって運営に携わる地域通貨活動。毎年4月から9月の終わりまで開催し2008年で、5年目となる。アトム通貨での取引が可能である加盟店は180店舗。

②インタビュー調査

調査対象: コミュニティカフェ・カフェスロー 間宮氏

場所 : カフェスロー 東京都国分寺市東本町2-20-10

調査日 : 2008年9月30日 13時~14時

調査対象: 地域通貨とともに環境文化活動の拠点のコミュニティカフェ、カフェスロー。
ここでの地域通貨「ナマケ」などの機能と活動について取材。

2. 上映会

映画モモを見よう、そしてドバイを見よう

場所 : 東京学芸大学 環境プロダクト研究室

実施日 : 2008年10月17日 18:00~21:00

実施目的: 講演会開催までにお金の流れの段階的な紹介と認知度を上げる。また、お金がどのようにとらえられているかを知り、その危険性について認識する。

実施内容: 「エンデの遺言」(NHK BS1、1995年5月4日放映)、映画「モモ」(原題: momo、

製作国：西ドイツ・イタリア、製作年：1987、配給：日本ヘラルド映画）、「沸騰都市第 1 回 ドバイ 砂漠に湧き出た巨大マネー」（NHK、2008 年 5 月 18 日放映）の鑑賞および意見交換。

参加者：6 名（学生、教員）

3. 講演会

もうひとつのお金の流れを知る講演会

場所：小金井市前原暫定集会施設 1 階会議室

実施日：2008 年 12 月 14 日（日）13:30～16:00

講師：ゲゼル研究会主宰 森野栄一氏

Apbank 理事 見山謙一郎

参加者：14 名（学生、一般市民、教員他）

参加者の感想：

Q. なぜ足を運んだか？

- ・ 地域通貨の活用方法を学びたいと思ったため。
- ・ 「ポイントカード」（小金井）地域通貨の接点を考えてみたい。
- ・ 小金井でできれば町会単位、商店街単位で実際に地域通貨を立ち上げたいと考えているため。

Q. 今後講演会の内容をどのように活かすか

- ・ ピークオイル後の街づくりに活かせるヒントがたくさんありました。
- ・ 自分の知らなかった認識で、共感はしているが、まだしばらくは考えて自分になじませる時間が必要。地域に生活するリアリティーを手に入れるために活かしていきたい。
- ・ apbank の思いもよらない発想が実践につながるという話を聞いて、自分でもふと思いついた「くだらないなー」と思う発想も捨てずに突き詰めて考えていきたいと思いました。今まで「環境のために何かしたい」と思いながら、何をしていたかわからなかったが（それは、どうせやるならしっかりしたことをやらなくてはという気持ちが大きかったのだけど）、「とりあえず、何かやってみる」ということが大事だと教えられました。個人的にも融資を受けることができるということも知ることができたし、自分が一步を踏み出す糧となった。

Q. どのように思ったか

- ・ 経済の現状に直結するわかりやすい内容でよかったと思います。地域の店の重要性が認識できました。
- ・ 「地域通貨」と「普通通貨」をどうやって織り交ぜながら流通させるんだ？と思い、

途中よくわからない部分があった。私はなぜ地域通貨が必要なのか分からない。確かに企業の 99 パーセントは地方にある中小企業かもしれないけど、大きい企業だけになってしまっても、何とか世の中回るのでは。寡占になっちゃうってこと？何かしら困るのだろうけど、具体的に何が困るのか教えてほしいと思った（自分で調べてみます）。

- 両講師の先生の話は大変参考になりました。ありがとうございました。また、大学生の皆様が、金融の仕組みに関心を持っていることに感心しました。